学校番号	３１０

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理探究	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「新詳地理探究」　（帝国書院）						
副教材等	新詳高等地図（帝国書院）、						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地理の学習においては、地図を活用した空間把握が非常に大切となってくる。また、地図を読解するための基礎的な知識や技能も必要になるため、授業では一年間を通じてこれらを学び、活用できるような能力を養っていきたい。
白地図やプリントを使っての作業や、地図を自分で作る作業、取り出した情報を文章にしてまとめる作業を行い、それらを評価につなげる。白地図については、特定のテキストを使わず、授業の内容に応じて適宜用意する予定である。（国土地理院のＨＰを参照）

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
地図やグラフ、写真の読み取りができるようなる。

【思考力、判断力、表現力等】
世界や日本の中での自らの立ち位置を把握し、多角的な視点から物事を考察する能力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】
世界の文化や社会の多様性を広くうけとめる寛容さを培う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地理に関する情報を取り出したり、再構築したりするための基礎となる知識・概念を蓄え、着実に積み上げている。教科書の地図やグラフ・写真から適切に情報を取り出している。また、白地図の色塗りや記述などの作業を通じて、必要に応じて情報を再構築できている。	世界や日本の地理上の諸課題を自らの問題ととらえ、解決策を模索的に思考し、主体的な判断を通じて、自らの意見として表現できている。	世界の中の日本、あるいは日本の中の自らの居住地域といった自己と社会とのつながりを意識し、世界や日本の地理的問題に関心をもって学習し、探求に努めている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第Ⅰ編　現代世界の系統地理的考察	第1章　自然環境 ①地形 ②気候と生態系 ③世界各地の自然と生活 ④日本の自然環境と防災 ⑤地球環境問題	a:地形や気候、生態系、世界各地や日本の自然、環境問題などに関わる諸事象の規則性、傾向性などについて理解する。 b:地形の分布や気候の特徴と人々の暮らしの関係、持続可能な環境の開発のあり方などを多面的・多角的に考察し、表現する。 c:自然環境と地球環境問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	定期考査 小テスト など	定期考査 レポート プリント ノート グループワーク など	レポート プリント ノート グループワーク など
		第2章　資源と産業 ①農林水作業 ②資源･エネルギー ③工業 ④第3次産業	a:第1次産業・第2次産業・第3次産業や資源・エネルギーに関わる諸事象の規則性、傾向性について理解する。 b:あらゆる産業の変化に注目し、諸問題に関する解決に向けた取り組みについて多面的・多角的に考察し、表現する。 c:よりよい社会の実現を視野に、資源と産業に関する課題を主体的に追究，解決しようとしている。	定期考査 小テスト など	定期考査 レポート プリント ノート グループワーク など	レポート プリント ノート グループワーク など
2学期	第Ⅰ編　現代世界の系統地理的考察　第Ⅱ編　現代世界の地誌的考察	第3章　人･モノ･金のつながり ①交通･通信 ②貿易･観光 第4章　人口、村落･都市 ①人口 ②村落･都市 第5章　文化と国家 ①生活文化と言語･宗教 ②国家とその領域	a:交通・通信、貿易・観光、人口、村落・都市、生活文化と言語・宗教、国家とその領域に関わる諸事象の規則性、傾向性について理解する。 b:交通・通信・貿易・観光・人口問題や、民族問題や領土問題の現状や要因、解決に向けた取り組みについて多面的・多角的に考察し、表現する。 c: よりよい社会の実現を視野に、人・モノ・金のつながりに関する課題を主体的に追究，解決しようとしている。	定期考査 小テスト など	定期考査 レポート プリント ノート グループワーク など	レポート プリント ノート グループワーク など

		第１章　地域区分 ①現代世界の地域区分 第２章　現代地域の諸地域 ①中国 ②朝鮮半島 海洋①　環日本海～海上輸送の発達 ③東南アジア ④南アジア ⑤西アジア･中央アジア ⑥北アフリカ･サブサハラアフリカ 海洋②環インド洋～交易と宗教文化	a:地域区分について理解し、アジアやアフリカの歴史的背景、自然、産業、生活などの項目を整理しながら基本的な知識を習得し、地域的特色を理解する。 b:それぞれの地域の特徴を考察し、日本との関りや今後の影響について多面的・多角的に考察し、表現する。 c:日本の領土、領域を含む環日本海諸国との関係や、環インド洋地域の変化や世界各地への影響、日本が貢献できることを探究する。	定期考査 小テスト など	定期考査 レポート プリント ノート グループワーク など	レポート プリント ノート グループワーク など
３学期	第Ⅱ編　現代世界の地誌的考察　第Ⅲ編　現代世界におけるこれからの日本の国土像	⑦ヨーロッパ ⑧ロシア ⑨アングロアメリカ ⑩ラテンアメリカ 海洋③　環大西洋～結びつきの変化 ⑪オーストラリア ⑫ニュージーランドと島嶼国 海洋④　環太平洋～開発と海洋保護 第Ⅲ編 ①　現代日本に求められる国土像	a:ヨーロッパ、ロシア、南北アメリカ、南半球の国々について、自然と歴史的背景、民族、文化、農工業などの項目を整理しながら基本的な知識を習得し、地域的特色を理解する。 b:　ヨーロッパ、ロシア、南北アメリカ、南半球の国々の地域開発と経済発展や日本との結びつきについて多面的・多角的に考察し、表現する。 c:環大西洋地域や環太平洋地域の諸問題について日本が貢献できることを探求する。また、日本の変化する産業と持続可能な成長、人口減少社会の活性化、多文化共生社会の実現に向けたさまざまな課題を探求させる。	定期考査 小テスト など	定期考査 レポート プリント ノート グループワーク など	レポート プリント ノート グループワーク など

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度